

2月 給食だより



令和8年 2月
上尾市立大石南小学校
校長 根本 純江
No.10

1年の幸福を願う「節分」の行事



2月3日 節分



立春の前日に当たる節分には、古くから、豆まきをしたり、ヒイラギイワシ（ヤイカガシ）を玄関に飾ったりして、病気や災難を起こす“鬼（邪氣）”を追い払い、1年の無事や幸福を願う風習があります。最近では、「恵方巻き」が店頭をにぎわすようになりましたが、もともと全国的な風習ではなく、江戸時代に大阪の商人が商売繁盛祈願のために行っていた風習が始まりとされています。（※諸説あります）

節分にまつわる食べ物



よくかんで
食べよう！

大豆をいったもの。豆まきに使うほか、自分の年齢の数、または年齢の数十1個食べて、1年の幸福を願います。大豆の代わりに落花生を使う地域もあります。



恵方巻き

太巻きずし。その年の歳神様がいるとされる“恵方”を向き、願い事を思い浮かべながら、無言で丸かじりします。

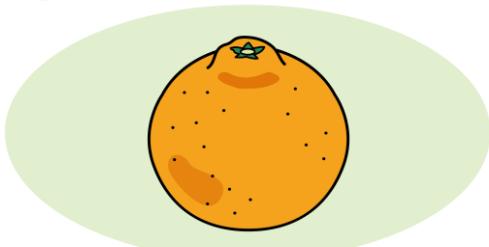


2026年の
恵方は
「南南東」



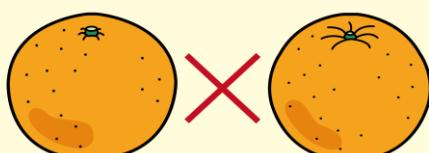
※いり大豆・落花生とともに、5歳以下の子どもは窒息する危険性があるため、食べさせないでください。

しらぬい(デコポン)



冬の果物の定番「みかん」をはじめ、柑橘類には味わいの異なるたくさんの品種があります。しらぬい（不知火）は、「清見」と「ポンカン」の交雑種で、発祥の地である熊本県宇土郡不知火町（現在は宇城市）の地名にちなんで、名づけられました。「デコポン」の名でも親しまれる近年人気の柑橘類で、ヘタの部分が出っ張った独特な形と、果汁をたっぷり含み、濃厚な甘味が特徴です。手で皮がむきやすいことと、中の薄皮（じょうのう膜）が薄くて食べやすいことも人気の理由です。温暖な気候を好み、主な産地は熊本県、愛媛県、和歌山県で、この3県で全収穫量の6割以上を占めています※。なお、「デコポン」は熊本県果実農業協同組合連合会の登録商標で、糖度やクエン酸などの基準を満たしたものだけがこの名で販売されます。

※農林水産省「令和4年産特産果樹生産動態等調査」



清見は「宮川早生(温州みかん)」と「トロビタオレンジ」の交雑種、ポンカンはインドが原産とされる柑橘類です。

2月17日(火)の給食に、甘くて、ジューシーな『デコポン』が登場します。楽しみにしてくださいね。